

第4回（2022年度）助成交付事業 活動報告

1. 「広島地区少年ソフトボール選手権大会 他」開催

（団体名：広島少年ソフトボール連盟）

場 所：出島沖グラウンド、MaZDa ZOOM-ZOOM スタジアム広島

開催日時：2022年10月9日（日） 第53回広島地区少年ソフトボール選手権 予選会

2022年11月13日（日） 第53回広島地区証券ソフトボール選手権大会

2022年12月17日（土） 第53回広島地区少年ソフトボール選手権 決勝戦

令和4年度広島少年ソフトボール連盟リーグ閉幕式

2022年12月18日（日） 令和4年度広島少年ソフトボール連盟卒業記念試合

参 加 者：334名（小学生男子280名、小学生女子24名、役員等関係者30名）

【事業の成果】

第53回を迎えた広島地区少年ソフトボール選手権大会は、決勝戦をマツダスタジアムで行う登録32チームにとって、最大のイベントであり、そのほかのリーグ戦、トーナメント大会において優勝したチーム、予選会という敗者復活戦で権利を与えられた計12チームにより開催され、決勝戦は寒い中ではあったが、マツダスタジアムで行うことが出来た。

予選会は5枠の出場権をかけて20チームで開催された。

卒業記念試合は、連盟加盟チームの6年生により編成された6チームにより、選手権決勝戦を経験できなかった卒業してゆく子供達にも憧れのマツダスタジアムで試合を行ってもらった。

【事業に対する評価】

連盟にとって、今年度最後となる選手権大会において、予選会で敗者となったチーム、優勝できなかったチームの子ども達が悔し涙を流している姿を見ると、この一年間、コロナ禍という大変な環境の中でも頑張ってきたことを証明してくれ、来年度も継続しなければいけない大会であることを実感した。また、卒業記念試合においては、マツダスタジアムという憧れの場所を楽しそうにプレーする6年生、またそれを見守る家族も、これまでの苦労を忘れるくらいの笑顔に溢れる試合となり、関係者にとって有意義な一日となった。

（主催者コメント）



2. 「子供用神楽衣装作成のための助成」

(団体名：阿坂こども神楽)

阿坂こども神楽様へ、子供用神楽衣装作成のための助成を行いました。

(子供用鬼着 3 着、子供用鎧下 2 着を新調)

新しい神楽衣装のお披露目として、「阿坂地区熊野新宮神社秋祭り大祭」、「阿坂地区文化祭」へ出演し、子ども神楽を披露しました。

【阿坂地区熊野新宮神社秋祭り大祭】

開催日：2022年10月9日（日）

場所：熊野新宮神社

内容：子ども神楽で出演

【安芸地区文化祭】

開催日：2022年11月6日（日）

場所：阿坂いこいの家

内容：子ども神楽で出演



3. 「(京都府) 第7回全日本中学女子軟式野球大会 他」開催

(団体名：広島レディース)

【事業の内容】

8月18日～20日 (京都府) 第7回全日本中学女子軟式野球大会

9月3日、4日 (鳥取県) MIKAZUKI CHAMPIONSHIP2022

10月15日、16日 (島根県) 第5回中国地区女子野球大会島根大会

11月6日 (岡山県) 第1回西日本女子軟式野球選手権大会

11月26日、27日 (高知県、愛媛県) ベストフレンドマッチ四国2022

3月25日、26日 (兵庫県) 第8回西日本女子軟式野球中高生大会

参加者：28名 (小学生1名、中学生9名、役員等関係者5名、その他13名)

【事業の成果】

全国大会含め、各チームとの交流を含め対戦させていただいたことにより、チームのレベルアップにつながりました。

【事業に対する評価】

年間スケジュールの中で、通常の練習試合においても遠方チームと練習試合などで、交通費が掛かっている状況です。チームとして遠征費用の積立も行っておりますが、助成金を活用させて頂き大変感謝しております。これからの女子野球発展の為に、微力ながら尽くしていきます。

(主催者コメント)



(京都大会)



(島根大会)



(ベストマッチ四国 2022)



(兵庫大会)

4.「第3回日本傳少林寺流空手道錬和館錬成大会」開催

(団体名：日本傳少林寺流空手道錬和館)

開催日時：2022 年 11 月 6 日（日） 9 時～

場 所：広島修道大学体育館メインアリーナ

内 容：第3回日本傳少林寺流空手道錬和館錬成大会

参 加 者：165 名（幼児 10 名、小学生 90 名、中学生 19 名、高校生 6 名、大学生 8 名、社会人 32 名）

【事業の内容】

- ・ 少年型試合 幼年の部、小学生低学年の部、小学生中学年の部、小学生高学年の部
中学生の部、帯別の型試合
- ・ 一般型試合 高校・一般の部、シニアの部
- ・ 組手試合 中学生男子の部、中学生女子の部、一般男子・シニアの部
高校・一般男子の部、高校・一般女子の部
- ・ 少年部団体演舞試合

【事業に対する成果】

参加選手は、日ごろの練習の成果を発揮できる機会となり、また勝敗にかかわらず今後の目標が出来ました。

(主催者コメント)



(錬成大会 開会式)



(団体演舞試合)



(組手試合)

(団体名：広島県吟剣詩舞道総連盟)

場 所：尾道市 しまなみ交流開会

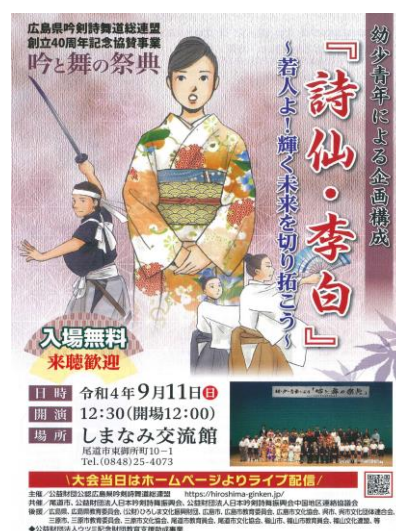
参加者：152名（小学生14名、中学生12名、高校生3名、大学生11名、社会人94名、大会関係者18名）

広島県吟剣詩舞道総連盟の創立 40 周年記念協賛事業として、日本の伝統芸能である吟剣詩舞道の発展と、次代を担う幼少青年の育成と日本文化教育を目的とし、彼らに発表の舞台を設けました。

企画構成番組「詩仙・李白」において、幼少青年たちが練習の成果を遺憾なく発揮し、目を輝かせ真剣に吟じ舞う姿は、今後の彼らの人生に大きな心の糧となり、支えとなることを確信いたしました。

広島県吟剣詩舞道総連盟は、広島、呉、三原、尾道、福山と5支部によって構成していますが、本事業を通じて各支部に所属する幼少青年たちをしっかりと見守り、吟剣詩舞を指導と共に情操も育んでいることを感じました。

(主催者コメント)



6. 「安芸高田こども神楽発表大会」開催

(団体名：安芸高田こども神楽発表大会実行委員会)

開催日時：2022 年 9 月 18 日（日）10：00 開演

場 所：神楽門前湯治村 神楽ドーム

内 容：安芸高田子ども神楽発表大会

参 加 者：183 名（幼児 8 名、小学生 61 名、中学生 30 名、高校生 3 名、社会人 73 名、大会関係者 8 名）

【事業の目的】

地域の誇りである伝統芸能「神楽」の保存伝承に日々努力する神楽団にとって、後継者育成は課題となっている。安芸高田神楽を後世に残していくための後継者としての子どもたちに、神楽に対する日頃の研究や錬磨の成果を披露する場を提供するとともに、神楽の保存伝承に励んでいる子どもたちの交流の場とする神楽発表大会を実施することで、神楽継承に対する誇りや郷土に対する愛着を育ませ、神楽の保存伝承及び後継者育成に寄与することを目的とする。

【事業の内容】

安芸高田市内のこども神楽団等出演による発表大会

【事業の成果】

「浦安の舞（横田地区浦安の舞保存会）」を含め、市内こども神楽団 10 団体が出演する発表の場を設けることが出来た。当日は 1,000 人を超える方々に来場いただき鑑賞してもらうことができた。

【事業に対する評価】

新型コロナウイルス感染症拡大防止により、広島県内、安芸高田市内で、こども神楽団体が出演できる機会がほとんどない中で、地域伝統芸能「神楽」を伝承するために日々取り組む子ども達の活動成果を披露する場として開催でき、大会もタイムスケジュールどおりスムーズに運営できたことは、非常に良かったと思う。

(主催者コメント)

